

第 27 回石狩川上流川づくり懇談会

○日時：令和 3 年 11 月 9 日(火) 14:00~16:30

○出席者

委員： しらい
白井座長

いしだ いずみや おおやま おきもと ささき しおた
石田委員、泉谷委員、大山委員、沖本委員、佐々木委員、塩田委員、

たけだ てらしま
武田委員、寺島委員（五十音順）

○議事概要

1. 開会

2. 議題

- 1) 河畔林の連続性について
- 2) 河川生物の保全について
- 3) フットパスの整備について
- 4) 施設やサインのデザインについて
- 5) 忠別川の川づくりについて
- 6) その他

3. 閉会

○石狩川上流川づくり懇談会の開催状況写真



白井座長



石田委員



泉谷委員



大山委員



沖本委員



佐々木委員



塩田委員



武田委員



寺島委員

○第 27 回議事要旨

主な意見
1. 河畔林の連続性について
1-1.牛朱別川 再樹林化抑制試験について
河川敷のヤナギ類は伐採してもすぐに生えてくるので、継続的に生えないようにするのはなかなか大変。かなり頻度で伐採なり何かをしないとイケない。
試験地のヤナギ類と言っても、例えばタチヤナギは川のすぐそばに生える。オノエヤナギは高水敷と砂利の中間のところに生える。このように樹種によって生育環境が違うので、樹種名をきちんと記載した方が良い。
2.河川生物の保全について
2-1.サケ・サクラマスの産卵床について
石狩川に遡上するサケの回帰状況は、大きく見れば北海道の来遊数パターンと似ているが、細部にわたって見ると、2019年、2020年にかけて日本海側の遡上、回帰数は増えているのに、石狩川上流では減少傾向になっている。特に忠別川はやや増加傾向にあるけれども、石狩川本流は減少が著しい。サケはサクラマスと違って伏流水あるいは湧水に依存しているが石狩川上流、忠別川の湧水は限られた区間にしかなく、ほとんどが伏流水に依存している傾向である。忠別川は河川の縦断方向に高低差が大きいので伏流水が確保しやすいが、石狩川上流は横断方向の高低差による伏流水が主体となる。石狩川上流は横断方向の分流が減少し、伏流水が減少しているので、その要因をきちんと調査、検討する必要があるかと思う。
2-1.ミクリポイント一生育環境改善に向けた取組みについて
ミクリポイント内のミクリ生息域にヨシが地下茎を伸ばして生育範囲を広げている。一方でヨシは水質浄化の効果があるため、痛しかゆしではあるが、ヨシにも配慮しながら対応していく必要があるかと思う。
3.フットパスの整備について
3-1.フットパスコース・マップ更新について
フットパスコースの現地サインには、トイレのピクトグラムあるけれども、多目的トイレ、身障者トイレのマークが無いのでつけた方が良い。
フットパスマップには、身障者対応のトイレの位置が記載されている。例えば現地サインにQRコードを付けて、QRコードを読み込めばマップでトイレ位置があるようにできると良いかと思う。
4.施設やサインのデザインについて
4-1.河川管理用通路の安全利用に係る啓発方法の検討について
ピクトグラムは、絵を見れば内容が理解できるものであり、文字説明を追加すれば、より詳しく分かるかという、例えば漢字が読めない子供や外国人とか、そういう人たちには結局伝わらない。文字を大きくすれば、より見やすいかという、それもどうかと思う。以前にサイン模型を製作して社会実験を行った際には、ピクトグラムの意味が理解できたのは、子供でむしろ大人がわからなかった。

ピクトグラムだけを見ても意味が分からないという人もいるかもしれない。字をきちんと読む人というのはあまりいないと思う。標識は、見た瞬間に理解できることが重要で、字を読まなければ分からないのはまずい。あまり字に頼らないほうがいい。

子供の立場から考えると、「i(インフォメーションマーク)」は単なる模様でしかない。大人は分かるとしても、子供たちも分かるように、子供優先に考えてあげるのも大事かと思う。

街中にあるサインには既に「i」と記載されている。これは何か情報を示すものと子供たちは徐々に学習していくと思う。このマークがあれば、何か大事なことが書いてあると見てくれるようになることを期待する。

ピクトグラムは理解されやすいが、それに文字がさらにあるとより分かる人もいるので、文字を入れた方が良い。例えば、ピクトグラム内に文字を入れることでも良いと思う。

啓発看板よりも啓蒙するものを配布する方が良いかもしれない。もう少し慎重に考えたら良いと思う。

啓発看板は、社会実験などで検証するのも良いかと思う。

5.忠別川の川づくりについて

サケやサクラマス産卵床ができている時期に産卵床を保全しながら河川工事を同時に進めていくことになるので、どういう方策が取れるのか。計画が出来た段階で、早めに関係機関ときめ細かい協議をしてほしい。

5.その他

旭川は川のまちで、それが魅力になっている。しかしながら、四大河川がもし破堤するようなことがあると、甚大な被害が発生することになるので、河積確保のために不要な土砂の撤去や樹木伐採をしてほしい。旭川市民が安全に暮らせるようにして頂きたい。